

平泉町第5次行政改革プラン

令和6年度実績入力済

令和3年3月プラン作成

平 泉 町

第１ 趣旨

この第５次行政改革プラン(以下「プラン」という)は、「平泉町第５次行政改革大綱」の具体的な取り組みを示すものです。

プランの計画期間は、大綱と同じ令和３年度から令和７年度までの５年間とします。

第２ 具体的な取組事項

- １．協働によるまちづくりの推進
 - (１) 住民に開かれた信頼される行政運営
 - (２) 住民と行政との連携強化
- ２．効率的な行政経営の推進とICT（情報通信技術）の活用
 - (１) 行政評価システムの推進と活用
 - (２) 民間委託・民営化等の推進
 - (３) ICT（情報通信技術）の活用
- ３．健全な財政運営の推進
 - (１) 自立性の高い財政運営と財政状況の積極的な公開
 - (２) 起債発行の抑制
 - (３) 財源確保の対策
 - (４) 経費の節減合理化
 - (５) 公営企業等の経営健全化
- ４．職員の人材育成と機能的な組織の構築
 - (１) 組織機構の見直し
 - (２) 定員管理・給与の適正化
 - (３) 目標管理を基礎とした人事評価制度の的確な運用
 - (４) 人を育てる環境づくりと資質の向上
 - (５) 議論が活発に行われる環境づくり

第３ 推進

プランの推進や必要に応じた見直しは、「町行財政改革推進協議会」の意見を取り入れながら、「町行財政改革推進委員会」を中心に取り組むこととし、担当課においてはプランを着実に実行します。

また、プランの進捗状況は広報誌等により町民の皆様に公表します。

取組事項	取組内容	年度	R6	目標単位	担当課
1. 協働によるまちづくりの推進					
(1) 住民に開かれた信頼される行政運営 各課に情報公開担当者を配置し、広報誌・ホームページを充実します。 また、重要施策や各種会議の内容等をタイムリーに公開します。 (会議の公表は、HPへの公表とし、議決機関については会議録その他の委員会等は 会議の概要公表とする。)		項目	評価		
1	各課へ情報公開担当者の設置	実績	A	設置の有無	まちづくり推進課
2	町広報の充実	実績	A	実施の有無	まちづくり推進課
3	ホームページの充実（全庁連携して分かりやすくタイムリーに発信）	実績	A	実施の有無	まちづくり推進課
4	オープンデータなど町政情報の積極的な公開	実績	A	実施の有無	まちづくり推進課
5	町議会、各委員会の会議内容(会議録)の公表	実績	A	公表の有無	議会事務局
6	農業委員会の月例会議内容(会議録)の公表	実績	A	公表の有無	農業委員会
7	教育委員会議の会議内容(会議録)の公表	実績	A	公表の有無	教育委員会
8	審議会、運営委員会、委員会等の会議内容（審議概要）の公表	実績	A	公表の有無	各 課
9	職員給与の公表	実績	A	公表の有無	総務課
10	財政状況の公表	実績	A	公表の有無	総務課
11	補助金等の公表 (町補助金等の目的、対象、金額等について町HPで公表する)	実績	A	公表の有無	総務課
12	各種計画等の公表 (各種計画等をHPに掲載し、町民への情報提供に積極的に取り組む)	実績	A	公表の有無	各 課
(2) 住民と行政との連携強化 町民参画のまちづくりのため、各種まちづくり懇談会を開催します。 また、職員は地域の課題について、議論等を通じて情報の交換及び共有化を図り、地 域や団体の自主的な協力を促しながら事業を推進します。		項目	評価		
1	各種まちづくり懇談会の開催	実績	A	実施の有無	まちづくり推進課
2	審議会委員等の公募制の推進	実績	A	実施の有無	各 課
3	審議会委員等への女性の登用 (女性登用率：実績R元22.0% 目標値R3-R4 23% R5-R6 24% R7 25%)	実績	A	達成の有無	まちづくり推進課

取組事項	取組内容	年度	R6	目標単位	担当課
2. 効率的な行政経営の推進とICT（情報通信技術）の活用					
(1)行政評価システムの推進と活用 事務執行の簡素化、集約化、標準化を図るため、事務事業評価プロジェクトチームを組織し、計画的に事務事業評価及び政策評価を行いPDCAのサイクルに基づき毎年度事業を見直していきます。 また、内部事務のスリム化やスピードアップを図るため、階層的な会議の整理を行います。		項目	評価		
1 効率的な行政経営システム（庁議等の活性化）の活用		実績	A	実施の有無	総務課
2 事務事業評価の実施		実績	A	実施の有無	総務課
3 政策評価の実施		実績	A	実施の有無	まちづくり推進課
4 行財政改革推進協議会の開催		実績	A	開催の有無	総務課
(2) 民間委託・民営化等の推進 民間の専門性や効率性が発揮されることで、住民サービスの向上や経費の縮減が図れる事務事業については、民間委託等を推進します。		項目	評価		
1 給食調理業務(小学校)の委託検討		実績	A	検討の有無	教育委員会
2 公共施設の民営化、民間委託、指定管理者制度の活用検討 (体育館、長島球場、テニスコート)		実績	A	検討の有無	教育委員会
3 公共施設の民営化、民間委託、指定管理者制度の活用検討 (放課後児童クラブ、児童館)		実績	A	検討の有無	子育て支援課
4 公共施設の民営化、民間委託、指定管理者制度の活用検討 (健康福祉交流館「悠久の湯」)		実績	A	検討の有無	町民福祉課
(3) ICT（情報通信技術）の活用 ICT（情報通信技術）については、導入の可能性や費用対効果などを検討し、その活用について検討します。		項目	評価		
1 RPAやAIなどICT（情報通信技術）を活用した内部事務の合理化について検討		実績	A	検討の有無	各課

取組事項	取組内容	年度	R6	目標単位	担当課
3. 健全な財政運営の推進					
(1) 自立性の高い財政運営と財政状況の積極的な公開 中期的な財政計画を毎年度策定する中で行政運営の健全を図り、特に財政調整基金については標準財政規模の10～15%を維持します。また、財政運営が適正に行われているか客観的に評価するとともに、新公会計による財務書類を積極的に公開します。		項目	評価		
1 財政調整基金は標準財政規模の10～15%維持 (目標 毎年度：4 億円以上)		実績	A	達成の有無	総務課
2 新公会計制度の導入による財務書類の作成・公表		実績	A	実施の有無	総務課
3 経常収支比率の改善 (実績：R5 94. % 目標：R3-R5：90%、R6-R7：89%)		実績	B	達成の有無	総務課
(2) 起債発行の抑制 毎年度の新規発行起債額（臨時財政対策債を除く）と公債費のプライマリーバランス黒字化を維持していきます。		項目	評価		
1 プライマリーバランス黒字化を維持		実績	A	維持の有無	総務課
2 実質公債費比率15%未満の維持 (実績：R3 9.1%)		実績	A	達成の有無	総務課
3 将来負担比率300%未満の維持 (実績：R2 80.1%)		実績	A	達成の有無	総務課
(3) 財源確保の対策 手数料や使用料の適正化及び未利用地の売却など財源確保対策を検討します。		項目	評価		
1 ふるさと納税制度のPRによる寄附金の増 (目標 R3年度200件、R4～5 300件、R6～R7年度 400件)		実績	A	達成の有無	総務課
2 手数料・使用料の適正化、未利用地の売却の検討・実施		実績	A	検討の有無	総務課 各課
3 税等収納方法の検討		実績	A	実施の有無	税務課、出納室 町民福祉課 建設水道課 子育て支援課 教育委員会
(4) 経費の節減合理化 事務事業の経費全般について、徹底した見直しを行い、経費の節減合理化に努めます。		項目	評価		
1 内部管理事務の節減の徹底 (消耗品費等の内部事務に係る経費の節減;R7年度までに2,500千円) 【各年度ごとの目標：R3年度まで500千円、R4年度まで1,000千円、R5年度まで1,500千円、R6年度まで2,000千円】		実績	B	達成の有無	総務課 各課
2 庁舎維持管理コストの縮減 (光熱水道費の削減を推進し、一層の省エネルギー化による庁舎の維持コストの縮減；R7年度までに1,000千円) 【各年度ごとの目標：R3年度まで200千円、R4年度まで400千円、R5年度まで600千円、R6年度まで800千円】		実績	B	達成の有無	総務課 各課
(5) 公営企業等の経営健全化 経営状況に応じて定期的に計画の見直しを行い、健全経営を図ります。		項目	評価		
1 水道事業会計の中長期的な経営戦略による料金水準の算定と料金体系の設定に基づいた水道料金の検討（R5年度から実施）		実績	A	検討の有無	建設水道課
2 下水道事業会計の中長期的な経営戦略による下水道使用料の検討（R4年度から実施）		実績	A	検討の有無	建設水道課

取組事項	取組内容	年度	R6	目標単位	担当課
4. 職員の人材育成と機能的な組織の構築					
(1)組織機構の見直し 総合的な組織力の向上・体質改善を図るため現状の組織・機構の検証を行い、社会情勢や住民ニーズに的確かつ迅速に対応できるよう効率的な事務執行体制を検討します。		項目	評価		
1 組織・機構の検証		実績	A	検証の有無	総務課 子育て支援課 教育委員会 平泉保育所・幼稚園 長島保育所
(2)定員管理・給与の適正化 平泉町定員適正化計画に基づき定員管理を行うとともに、給与については毎年度公表される人事院勧告等を尊重し改善を行っていきます。		項目	評価		
1 平泉町定員適正化計画に基づく定員管理 (実績：R元118人 目標 R3:116人 R4-R7：114人)		実績	B	達成の有無	総務課
2 給与改善の適正化		実績	A	適正の有無	総務課
(3)目標管理を基礎とした人事評価制度の的確な運用 職員の意欲を高め、相互のコミュニケーションを緊密にするため、人事評価制度の効果的な運用を図ります。		項目	評価		
1 人事評価制度の実施		実績	A	実施の有無	総務課
(4)人を育てる環境づくりと資質の向上 職員の資質向上と能力開発を行うため、職場研修（OJT）及び職場外研修（OFF JT）の充実を図ります。		項目	評価		
1 職場研修（OJT）と職場外研修（OFF JT）の実施		実績	A	実施の有無	総務課
(5)議論が活発に行われる環境づくり 上司と部下、同僚間で業務について「ほうれんそう」（報告・連絡・相談）を徹底し、風通しの良い、さわやかな職場を常に目指します。		項目	評価		
1 週末、月例等定期的に課内会議を開催		実績	A	実施の有無	各課
項目数			43		
実績数		A	43		
		B			
		C			

A	39	90.7%
B	4	9.3%
C	0	0.0%
		100.0%